

## 海外食料需給レポート (Monthly Report) のポイント 国際的な穀物等の需給の見通し (2009/10年度)

穀物全体、油糧種子ともに生産量は消費量を上回ると見込まれるものの、とうもろこし、大豆等の作付けから生育期に移行する南米の天候等に注視が必要。

穀物全体の期末在庫率は 20.9%と前年度(20.7%)並みで、FAOの安全在庫水準(17~18%)を上回る見込み。

### ○主な品目別の需給

#### 小麦

世界的に豊作となった前年度より生産量は減少するものの、消費量を上回る生産量が確保され、需給は緩和すると見込まれる。

【生産量：673.9百万トン(▲1.2%)、消費量：646.7百万トン(+1.2%)】

- ◇北半球の2010/11年度の冬小麦は、主要生産国で休眠期
- ◇豪州で収穫が終盤、アルゼンチンで収穫が半ば

#### とうもろこし

前年度より生産量はわずかに減少し、消費量を下回ることから、需給は引き締まると見込まれる。

【生産量：790.2百万トン(▲0.2%)、消費量：803.3百万トン(+3.6%)】

- ◇米国で降雨やその後の降雪により、収穫が大幅に遅れ、品質低下の懸念
- ◇米国で飼料及びエタノール原料用需要の増加
- ◇ブラジルで作付けが終了し、生育に適した状態
- ◇アルゼンチンでは作付けが終盤となるが、一部地域で乾燥懸念

#### 米

前年度より生産量は減少し、消費量を下回ることから、需給は引き締まると見込まれる。

【生産量：433.9百万トン(▲2.7%)、消費量：436.0百万トン(+0.3%)】

- ◇インドでモンスーン期の干ばつ、その後の洪水で、生産量が減少
- ◇フィリピンで台風による冠水等で、生産量が減少し輸入量が増加

#### 大豆

面積の増加から生産量は前年度を上回り、消費量を上回る生産量が確保されると見込まれる。

【生産量：250.3百万トン(+18.7%)、消費量：233.8百万トン(+6.0%)】

- ◇中国で大豆(搾油用)の需要が増加しており、高水準の輸入が継続
- ◇ブラジルは土壌水分に恵まれ、作付けが南部の一部地域を除き概ね終了
- ◇アルゼンチンは土壌水分不足で作付けが遅れるも、その後の降雨で進展